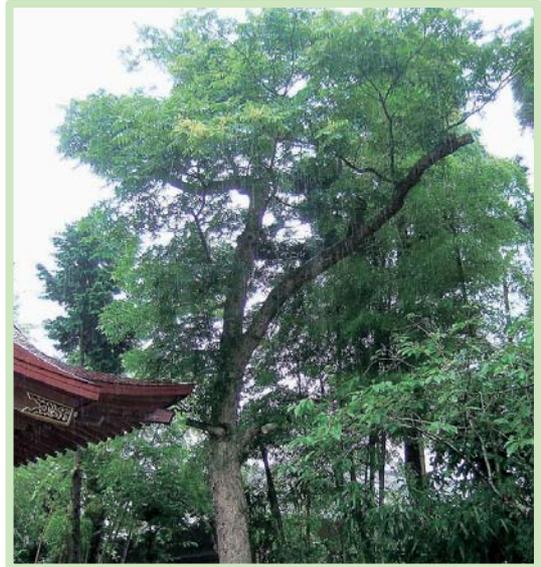




指定20 イロハカエデ

- 所在地／常磐藤原町松本65（建徳寺）
- 指 定／S53. 3. 10
- 樹 高／10.0m ■幹 周／2.5m

暖帯のカエデで阿武隈山地に入ると少なくなります。多少湿った土地を好みケヤキと似た場所に生育します。秋季、昼間強い光のもとで光合成し、夜間に急冷すると炭水化物は赤い色素に変化して鮮やかに色づきます。この木は自然の姿を保つ大木で、大切にしたいものです。



指定22 ムクロジ

- 所在地／平下高久字馬場300(八剣神社)
- 指 定／S53. 3. 10
- 樹 高／11.3m ■幹 周／1.4m

西南日本に自生する亜熱帯系の落葉樹です。暖かい地方では神木として植えられていますが、この木も海岸に近い暖かい気候のもとで大切に保護されたので、よく育つことができました。種子は黒く、羽根つきの球として利用されます。



指定26 ケヤキ

- 所在地／植田町八幡台2（八幡神社）
- 指 定／S53. 3. 10
- 樹 高／30.0m ■幹 周／3.7m

温帯の樹木で日本全国に分布します。水分の多い崖崩れ地や扇状地氾濫原のような明るい肥沃な土地を好み大木に育ちます。

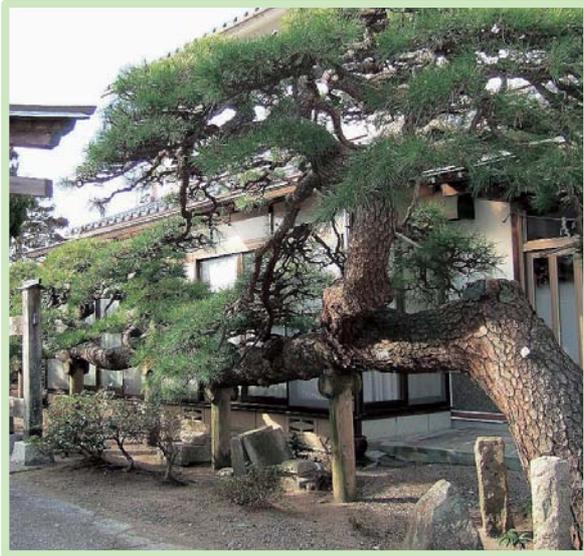
この木は箒を逆立てたようなケヤキ独特の優美な姿を保っている木です。



指定32 クロマツ

- 所在地／四倉町字西二丁目4-12
- 指 定／S54. 3. 31
- 樹 高／18.9m ■幹 周／2.4m

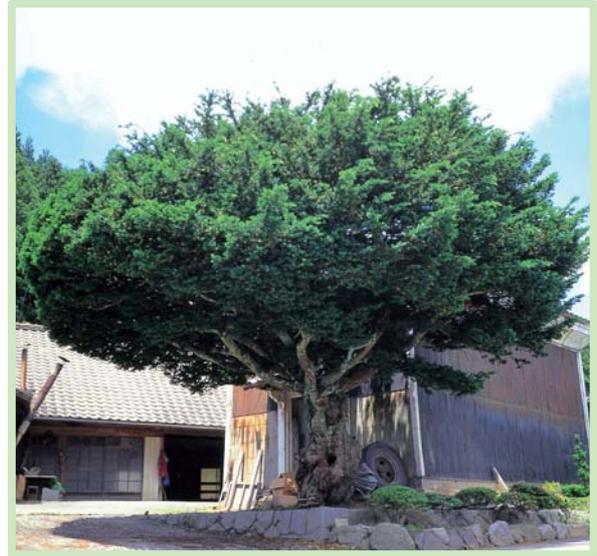
暖かい地方の海岸に生えるマツで砂丘や断崖のような環境にも生育します。この木は今から約300年前、平藩内藤氏の時代に植えられた旧陸前浜街道の並木です。間隔が狭いのは苗木の時に植えられたまま今日に至ることを示し、昔は街道を往来する人々に休息を与え、今は環境浄化等に役立っている歴史的記念物です。



指定33 クロマツ(青龍の松)

- 所在地／久之浜町久之浜字中町16(諏訪神社)
- 指 定／S54. 3. 31
- 樹 高／4.0m ■幹 周／1.5m

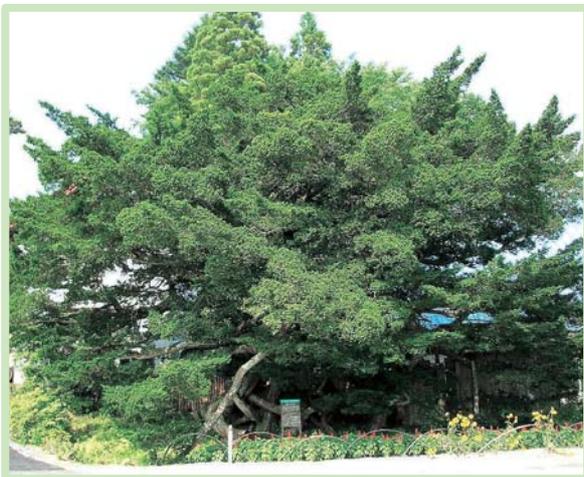
暖かい地方の海岸に生えるマツで砂丘や断崖のような環境にも生育します。この木は地元のクロマツを移植し盆栽の手法で数百年にわたって龍に似せて作りあげたものです。日本人は古くから風雪に耐え常緑の葉を茂らせ曲がりくねった幹や枝の造形的な樹木を好み、神木として日本人の心に宿ってきた木です。



指定38 イチイ

- 所在地／三和町中三坂字北之内53
- 指 定／S54. 3. 31
- 樹 高／6.4m ■幹 周／1.8m

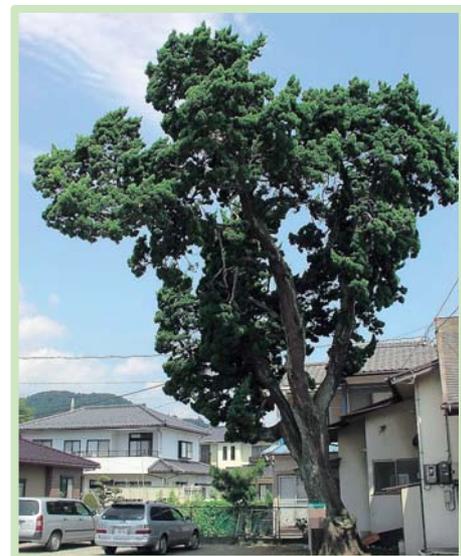
もともと日本海性気候の亜高山地方に生える樹木で、この木はイチイの低木化したものです。庭木として広く用いられていますが、寒地原産の性質から当地の気候に適応してよく育っています。



指定39 キャラボク

- 所在地／川前町小白井字大小屋3
- 指 定／S54. 3. 31
- 樹 高／8.0m ■幹 周／3.1m

常緑高木イチイの低木化した変種で、幹は横に這った多雪に適応した樹形です。曲折した樹幹は網目状に入り組んで奇態を呈し庭木として珍重され、大木なので村人から尊敬され親しまれてきました。阿武隈山地の各地に植栽され、地域景観の維持に役立っています。



指定40 イブキ

- 所在地／久之浜町田之網字横内16
- 指 定／S54. 3. 31
- 樹 高／13.0m ■幹 周／2.6m

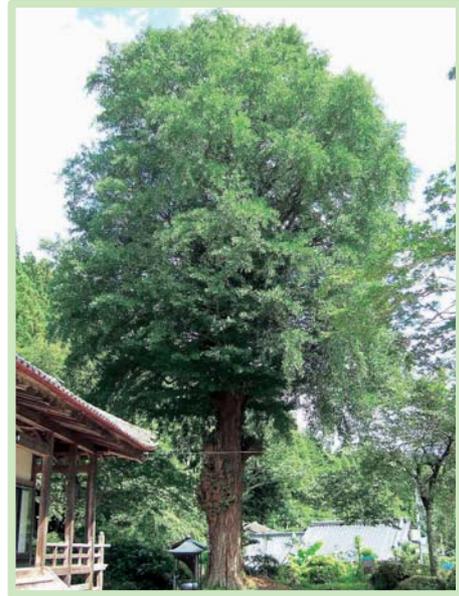
三陸、いわき、茨城、房総の暖かい海岸に跳躍的局地的に自生地があります。いわき海岸には塩屋崎・江名の海岸にもありますが、大木に育っていません。樹幹はねじれ斜上する枝のために変化に富む樹形となり庭園木として園芸種もつくられています。民家の植栽は波立寺の信仰に由来しています。



指定41 イチョウ

- 所在地／四倉町字田戸176(犬突不動尊)
- 指 定／S54. 3. 31
- 樹 高／21.8m ■幹 周／5.0m

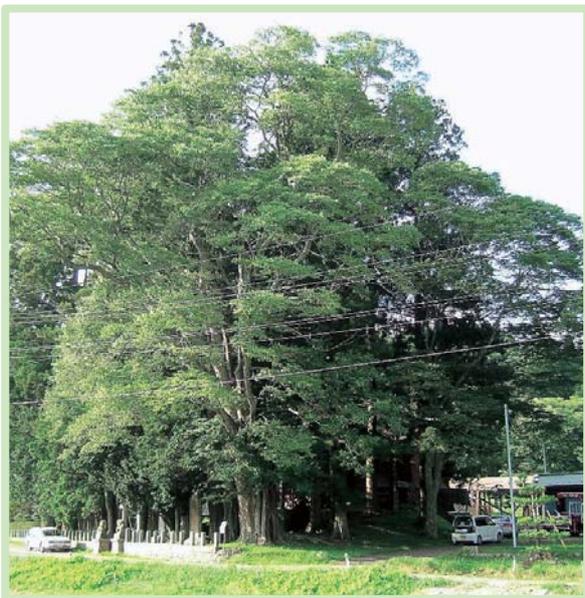
中国原産の樹木で仏教文化の伝来と関係深い木です。古くから神社や寺院に植えられ、土地を選ばない強い性質からとてもよく育ちます。今から約1億年も昔、中生代に恐竜と共に栄えた木の子孫で「生きている化石」とも呼ばれます。



指定43 イチョウ

- 所在地／三和町合戸字内畑35 (光福寺)
- 指 定／S54. 3. 31
- 樹 高／23.3m ■幹 周／4.4m

中国原産の樹木で仏教文化の伝来と関係深い木です。古くから神社や寺院に植えられ、今は街路樹や庭園木としても植えられています。土地を選ばない性質からとてもよく育ち大木になります。今から約1億年も昔、中生代に恐竜と共に栄えた木の子孫で「生きている化石」と呼ばれます。



指定50 ケヤキ

- 所在地／三和町下三坂字入合76-2 (稲荷神社)
- 指 定／S54. 3. 31
- 樹 高／27.5m ■幹 周／4.1m

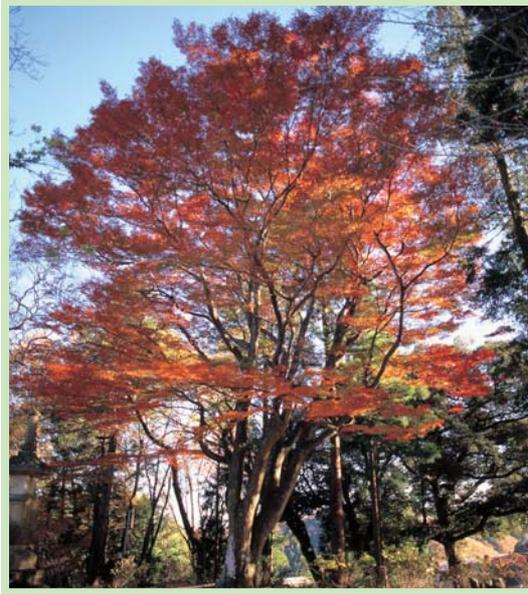
温帯に生える落葉広葉樹で、肥沃な土壌を好み巨木になります。この木は肥沃な三坂川の氾濫原に自生し、境内林の一部として保護されたので大木になったものです。



指定51・52 ケヤキ

- 所在地／平字九品寺町6-1 (九品寺)
- 指 定／S54. 3. 31
- 樹 高／25.0m ■幹 周／5.4m
- 樹 高／25.0m ■幹 周／4.0m

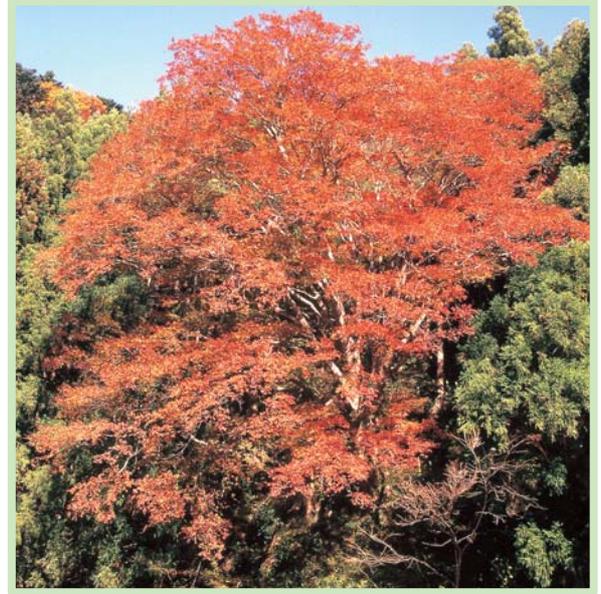
温帯に生育する落葉広葉樹で肥沃な土壌を好みます。この木は夏井川下流の肥沃な沖積平地に育ったもので、竹箒を逆立てたようなケヤキ独特の優美な姿を保っている木です。



指定54 イロハカエデ

- 所在地／常磐藤原町田場坂125(法海寺)
- 指 定／S54. 3. 31
- 樹 高／25. 0m ■幹 周／2. 9m

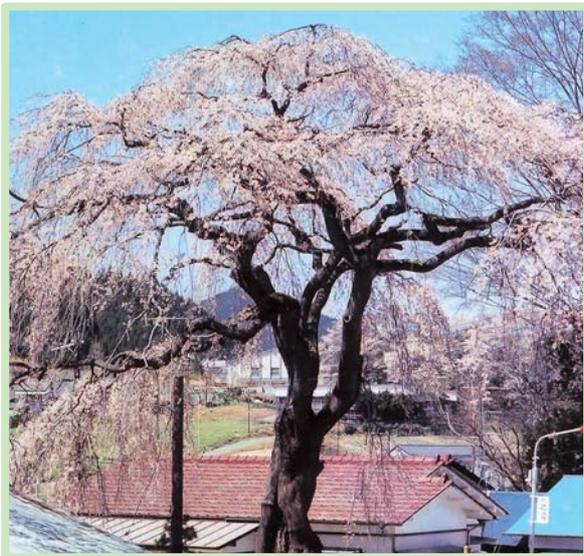
暖温帯のカエデで、いわき市では丘陵平地から阿武隈山地溪谷部に生育しています。秋の強い光のもとで炭水化物がつくられ、夜急に冷えると炭水化物は赤い色素に変化することから、阿武隈山地ほど鮮やかに紅葉します。この種をもとに多くの園芸品種がつくられています。



指定55 イロハカエデ

- 所在地／田人町石住字綱木
- 指 定／S54. 3. 31
- 樹 高／21. 3m ■幹 周／3. 3m

暖温帯のカエデで、いわき市では丘陵から阿武隈山地溪谷部に生育しています。秋に、強い日ざしのもとに光合成で炭水化物がつくられ、夜急に冷えると葉に離層ができ同時に赤い色素ができて鮮やかに紅葉します。この木は自生でケヤキ等と深い谷間に育ち秋には華やかに色づきます。



指定56 シダレザクラ

- 所在地／田人町黒田字一ノ倉
- 指 定／S54. 3. 31
- 樹 高／10. 7m ■幹 周／3. 3m

エドヒガンの枝が垂れる型で肥沃で日当たりのよい場所を好み長命です。エドヒガンは阿武隈山地中央部の雑木林に混生し、種蒔桜と呼んで農作業の目安にする株が散在しています。この木はソメイヨシノより少し早い時期に白く小さい花をつけます。樹齢は200年位と推定されています。



指定57 ヤマザクラ

- 所在地／三和町下市萱字新田
- 指 定／S54. 3. 31
- 樹 高／16. 0m ■幹 周／4. 2m

暖かい地方の桜で、日当たりのよい山地に生育します。阿武隈山地が分布の北限といわれ、いわき市では丘陵、平地、阿武隈山地溪谷部の自然林に混生しています。花はソメイヨシノより遅く、赤味を帯びた葉と共に淡紅色の花をつけます。この木の樹齢は不明ですが、長命の木です。